

レッスン12

A. お祈りの暗唱と暗記

いつものように、いくつかのお祈りでクラスを始めます。その後、レッスン9、10、11で学んだお祈りを復習します。レッスン13では新しいお祈りを暗記することになるので、ここで、このお祈りを全員が上手に言えるようになっていることを確認する必要があります。

B. 歌(前に習った歌の復習を含む)

「真実に満ちていること」

(『ブック3 子どもクラスの歌』CD、10番)

ララララ ラーララ ラララララ

ララララ ラーララ ラララララ

真実は太陽より明るい 真実は太陽より明るい

真実で舌を美しく 真実で舌を美しく

ララララ ラーララ ラララララ

ララララ ラーララ ラララララ

正直はみんなの魂を飾る 正直はみんなの魂を飾る

正直は太陽より明るい 正直は太陽より明るい

ララララ ラーララ ラララララ

ララララ ラーララ ラララララ

C. 引用文の暗記

以下の考えを子どもたちと分かち合うことによって、このレッスンのテーマである正直ということと、子どもたちが暗記する引用文を彼らに紹介できます。

庭は、違った形や色のいろいろな花で飾られます。果物を実らせる木は、春には、匂いの良い花を咲かせます。私たちは清潔でしみのない衣服で飾ります。これらの飾りはみんな美しさを創ります。でも、それらの物質的なものよりも、人間を美しくし、心に喜びをもたらすものは、精神的な資質の輝きです。私たちの人生の飾りとして、正直が一番美しい資質の一つです。私たちが正直で身を飾ると、他の人の物を許可なく取りあげたりはしません。人をだましたり、何かをさせるためにごまかしたりする

ようなこともありません。正直と言う資質を忘れないようにするため、次のバハオラからの言葉を暗記しましょう。

おお人々よ。正直をもって自らの口を美しくせよ。真実しんじつをもって魂たましいを飾る装飾そうしよくとせよ。¹¹²

<美しくする>

1. マリット君は庭に美しいバラを植えました。バラは庭を美しくします。
2. スニル君は真実だけを話します。スニル君の言葉はいつも、誠実で美しくされます。

A. お話

アブドル・バハは人生の終わりの頃、世界中のいろんな所を旅されました。そして、いく先々で、労働者や、指導者や、教育者や科学者など様々な人にお会いになりました。彼は誰もが安心できるよう、できる限りのことをされました。ある日、エジプトで、アブドル・バハは政府の、位の高い役人をお昼に招待し、彼らを目的地まで連れていくために馬車を雇うことにされました。役人たちがそのような快適さに慣れていることを知っておられたからです。

それほど長く乗ることもなく、彼らは昼食会の場所に着きました。馬車の御者がアブドル・バハに支払いを正当な運賃よりかなり高く請求しました。アブドル・バハは、その御者が正直でないと気づき、正当な額だけを払われました。

御者が文句を言おうとしたとき、アブドル・バハはその御者に向かってきっぱりと言われました。もし正当な運賃を請求していたら、かなりいいチップ(心付け)をつけて払うつもりだったと。それからアブドル・バハは、自分の行動を振り返る御者を残して去って行かれました。

B. ゲーム:「四角、丸、三角」

子どもたちが、たとえば、「四角」、「丸」、「三角」というような、形の名前を知っているか確認することが必要です。まずこれらの形の名前を復習して、それを特定することができるか試みましょう。

それから、あなたが事前に用意した、形の配列を書いたカード、例えば、「丸、丸、四角」と書いたカードを取り上げ、子どもたちにそれをよく見せてから、そのカードを元に戻して、一人の子に、そのカードになんと書いてあったか発表させます。あらかじめ用意していたカードを使って、これを数回繰り返します。

もし三つの形を覚えるのが難しいようであれば、カードに書く形は二つだけでも構わないし、三つが易すぎるようなら、四つか五つの配列を書くこともできるでしょう。

その後、子どもたちの能力に応じて、二つ、三つ、あるいは四つの一連の形の名前を読み上げ、グループの一人にそれを繰り返すよう言います。クラスの全員とこれを何度か繰り返した後、もっと難しいゲーム、たとえば、先生が読み上げる通りに一連の形を描くというゲームに取り組むこともできます。

F. ぬり絵 12

G. 終わりの祈り



おお人々よ。^{しょうじき}正直をもつて^{みづか}自らの口を美しくせよ。^{しんじつ}眞実をもつて^{たましい}魂を^{そうしょく}飾る装飾とせよ。